

庁舎への移動手段確保は

シャトルバスの運行で対応



もり はるし 議員
森 治史

新庁舎の間を直営でシャトルバス便による移動手段の確保を計画し、開庁に併せた運行開始を目指して準備を行っている。

金婚式

式場への送迎

できないか

来年度から

対応したい

問 年明けから新庁舎での業務が開始されるが、これまでバス、くろしお鉄道を利用して役場に来ていた住民から「新庁舎は距離と勾配のきつい坂道があり、歩いて行けない」との声を聞く。高齢者や交通弱者の方達が来庁する時の交通手段対策は絶対に必要と思うが、町はその対応を考えているか。

答 宮川 総務課長

住民にご不便をかける懸念があるので、土佐入野駅から

問 高知新聞主催の金婚式（幡多会場）に出席された方から「私達は自分の車で行ったが、免許を持っていない人や免許を返納した人等、送迎をしてくれる人がいなくて欠席される方も多数いるのではないか」との声があった。幡多6市町村でバスの送迎をしていないのは黒潮町だけだ。来年度からは広報等で金婚式への参加者に知らせて、会場

までのバス送迎をすべきはないか。

答 川村 健康福祉課長

高知新聞と関連事業団主催の金婚式典は、幡多6市町村も運営協力として参加。毎年9月1日に四万十市で開催している。黒潮町は出席者各自での参加となっている。現在は広報、ホームページ、告知放送で参加を呼びかけているが、平成30年度からは周知の方法や集場所などを検討し、送迎を行う方向で考えていきたい。

調理室解体

どうなる

配食サービス

12月中旬に

工事予定

問 保健福祉センター入口東側の建物の2階に調理実習室（厨房）があり、その厨房を利用して昭和60年から月2回、平成7年からは月4回（毎水）高齢者や一人暮らしの希望者へボランティアで作った

弁当40食（有料）を民生委員やボランティアの方々が各地域の家庭へ届けている。まだ新しい建物で十分活用出来るのに、なぜ取り壊すのかとの住民の声を聞く。この配食活動はこれからも継続すべき事業だと思いが、厨房施設を移動できる広さの場所の確保はしたのか。

答 宮川 総務課長

国道56号改良工事で支障に

なる公共施設の移転補償契約を平成24年4月に国交省と締結している。地域包括センター等の建物は直接道路用地ではないが、行政機能と直結しており補償の対象として取り壊す。調理室は見守りネットワークによる配食やイベントの弁当作り等に活用しており、保健福祉センター2階のホール西側の部屋へ移設する。12月中旬に工事を行う考えで進めている。



入野駅から見る新庁舎